

## 「nano tech 2003 + Future 国際展示会」報告

㈱ニューガラスフォーラム

松田 弘一

### A report of 「nano tech 2003 + Future」 International Exhibition

Koichi Matsuda

*New Glass Forum*

#### 1. 各方面のVIPも訪れ大盛況だったナノガラス展示

平成15年2月26日から2月28日までの3日間、千葉の幕張メッセでNEDO・JETRO・AIST共同主催の「nano tech 2003 + Future 国際展示会」が開催され、3日間で来場者数約2万5千人と大盛況であった。この中でナノガラス技術プロジェクトの展示ブースは、社団法人ニューガラスフォーラムと独立行政法人産業技術総合研究所関西センター、及び企業（日本板硝子㈱、旭硝子㈱、日本山村硝子㈱、岡本硝子㈱）との合同展示ブースであった。

ナノガラス技術プロジェクトの展示ブースには、各方面のVIP（経済産業省製造産業局局長および次長、政策評価広報課長、NEDO理事長、副理事長及びJETRO理事、産業技術総合研究所副理事等）の方々の来場があり、また、ニューガラスフォーラムの山中会長、旭硝子（田中副社長）、日本板硝子（木戸専務）、岡本硝子（岡本社長）等のプロジェクト参加企業

の方々および多数の見学者も訪れて、好評を博していた。

ナノガラス技術プロジェクトブースの展示物は、「高輝度発光ガラス蛍光体」、「高圧構造制御 微小光学素子」、「有機-無機ハイブリッド



VIP 来訪



多数の見学者

技術「気孔配向膜」,「サブ波長周期構造内装波長分波器」,「回折格子型フィルターを形成した導波路デバイス」,「ガラスを光で強化する新たな高強度手法を開発(高強度ガラス)」,「超低損失ガラス膜及びそれを用いた導波路デバイス」,「1枚の光ディスクに4枚分記録できる夢の薄膜(大容量光ディスク用集光機能性ナノガラス薄膜)」,「ガラスの中に光集積回路を作る(三次元光導波路)」等で、他のブースと異なり、試作品を多数展示した。この中にはかなり実用化に近いものもあり、新聞社も取材に訪れていた。

## 2. NEDO 表彰で3賞中の2賞を獲得

「nano tech 2003+Future 国際展示会」で、ナノガラス技術プロジェクトが、NEDO が設けた3賞のうちの2賞を受賞した。具体的には、NEDO からナノマテリアル・プロセス技術プロジェクトを受託している機関の出展ブースの中から、①最優秀技術賞、②独創技術賞、③事業化有望技術賞を選んだもので、ナノガラス技術プロジェクトは、②独創技術賞及び③事業化有望技術賞を受賞しました。①最優秀技術賞は、ナノカーボンなどを展示した、財フラインセラミックスセンターだった。選定は、NEDO が3日間の会期中、初めの2日間に入場した約1万5千人のアンケートの回答結果でおこなった。

最終日の2月28日、午前10時から、会場内のシアターでのセレモニーで、当フォーラムの上杉専務理事が NEDO 青柳理事から上記②及び③の2枚の表彰状を受けた。なお、これとは別の表彰として、個別参加企業の中から選ぶ表彰があった。こちらは、川合大阪大学教授を代表者とする選定委員が、個別ブースを評価して選んだもので、当フォーラム会員の日立を初め9社が表彰された。その中の大賞は、ナノテク応用燃料電池展示の NEC であった。

ところで、「ナノガラス・ナショプロ研究」は、5年計画のうち平成15年度が中間評価の年に当たり、研究内容はもちろん、NEDO はこの出展の内容も加味して評価し、その結果を平成16年度予算要求に反映させると言っていたので、みな真剣に取り組んでいた。関係者一同、平成16年度予算要求額を楽しみにしているところです。



NEDO の表彰



表彰状 (左: 事業化有望技術賞、右: 独創技術賞)